


# 伊都で学ぶ!

## 定時制で学ぶ

伊都中央高等学校 で、自分らしい **高校生活** を始めよう



*On your first attempt  
we will give in  
Itachua High School*

和歌山県立伊都中央高等学校 **定時制** (昼間・夜間) **通信制**

〒649-7203 和歌山県橋本市高野口町名古屋558

TEL 0736-42-2056 FAX 0736-43-0005

### ○ わたしたちの学校

伊都中央高等学校は、平成27年に開校した、定時制課程（昼間・夜間）と通信制課程を設置する普通科高校です。生徒の皆さんは、自分のペースに合わせて、基礎基本から高度な内容まで幅広く学ぶことができます。学習する科目や時間帯を自由に選択できるため、勉強と両立しながら夢に向かって努力する時間を大切にすることができます。



# 定時制を知る

## ● 高校卒業は？

全日制を卒業しても、定時制を卒業しても、同じ高校卒業資格となります。定時制では、全日制とは違って、1日の授業時間が基本は4時間ですが、加えて2時間の授業を選ぶことができ、修得単位によって、3年卒業か4年卒業を選ぶことができます。

## ● 学習方法のちがいは？

全日制 … 週5日登校 1日6～7時間の必修授業

定時制 … 週5日登校 1日4時間授業の必修授業 + 選択授業

## ● 授業の時間や行事はどうなっていますか？

- 昼間コース 8：30までに登校します。朝から4限の授業があり、昼休憩後には2限の授業があります。
- 夜間コース 17：30までに登校します。4限の授業があります。
  - ・ 放課後は部活動を行っており、全国大会に出場するクラブもあります。
  - ※ 日本拳法、総合体育、卓球が県代表として全国大会出場
  - ・ 体育大会や文化祭、遠足、修学旅行、球技大会などさまざまな行事があります。

## ● クラスや授業はどんな感じですか？

1クラス10～20名程度の少人数クラスです。授業は、基礎からの学習や一人一人の理解度を確認しながら進める授業に取り組んでいます。

## ● 進学や就職はどうなりますか？

1年次から、話し方講座やマナー講座をはじめ、県全体の就職企業ガイダンスなどに、全員取り組みます。就職指導や進学指導に力を入れており、服装（全員スーツ系着用）や面接の指導等、くり返し取り組みます。

### 単位修得の3つの条件

- ① **出席** 年間で3分の2以上の出席が必要です。 **最重要ポイントです**
- ② 提出物や授業への取り組みが評価されます。
- ③ 単元テストや小テストなどで一定以上の授業内容の理解

### 卒業のための3つの条件

- ① 在学期間 = 3年以上（高校在籍通算3年以上）
- ② 修得単位数 = 74単位以上の修得（必修科目をすべて含む）  
※技能検定（英検等）や高卒認定の科目合格も、要件を満たせば単位認定されます
- ③ 特別活動・HR出席数 = 本校の定める時間以上（学校行事を含む）

## 中学生のみなさまへ

安心して学校に通い、いろいろなことを学び、健康で、そして将来の夢に向かい前向きにがんばる。みんなそう目指すのですが、これがなかなか難しい。また、学校生活で、学習や出席、周りの人との関係などうまくいかなかったり、学校に行くことの不安・・・。

伊都中央では、生徒一人一人の「想い」を大切にしています。授業や学校行事、ボランティア活動など校内外の活動をとおして、生徒一人一人が、机の上の勉強だけでなく、「社会の中で輝く自分になれる」高校生活を送ってもらうようバックアップしていきます。

## 保護者のみなさまへ

「高校から新しい自分になって進学できる学力をつけたい」「それまでの学校生活をリセットして、心機一転、授業や学習、学校生活にがんばりたい。」など、生徒のみなさんは、一人一人が、いろいろな想いを持って入学してきます。

伊都中央では、生徒一人一人と話し合いながら、定時制や通信制の強みも生かして、進学に、就職に、アドバンテージを持てるよう生徒をサポートします。

教員はもちろん、カウンセラー、スクールソーシャルワーカーのサポート、そして、授業を受けづらい生徒の状況改善をはかるＩＴＯ支援室の設置など、授業や行事以外の面でも、教育プログラムを展開しています。

## 伊都中央の定時制では・・・

**3年**で**卒業**可能です

**午後の授業**は自分で**選択**します

①**出席数** + ②**提出物や授業への取組** + ③**単元テスト**

①、②、③について総合的に判断されます

## 伊都中央高等学校

和歌山県立伊都中学校(1922年開校)、  
から和歌山県立伊都高等学校(1948年開  
校)へと引き継がれてきた高野口の校地に、  
2015年に開校しました。



## ITO (アイティオー) 精神

I Industry 勤勉  
T Tidiness 清楚  
O Onward 前進

伊都高等学校時代から示されるわたし  
たちの行動目標は、玄関前のブロンズ  
像に刻まれています。



## 伊都中央 5つの flexible (フレキシブル) なポイント

- ① 学ぶ時間帯 「学び方」十人十色  
① (定) (通) 朝から学ぶ (定) (通) 夕方から学ぶ (通) 日を選択して学ぶ
- ② 学び方 オンリー・ワンの「学び」をサポート  
(定) 毎日受講する (通) 受講日に学ぶ (定) (通) 毎日登校可
- ③ 時間割 自分だけの時間割  
(定) (通) 将来の進路に応じた選択ができます
- ④ 高校生活 可能性∞(無限大)の高校生活  
(定) (通) 学び、部活動、ボランティア、アルバイト 自分に合った生活を
- ⑤ 修業年限 自分のペースで学んで3年で卒業も  
(定) (通) 必修授業での基本は4年卒業ですが、選択科目により3年で卒業できます

定時制ってどんなのかな? 何年行くの? なんかわかんないなあ。  
通信制っていついくの? 何年かかる? どんなところ? 授業はあるのかな。

全日制高校のことは少しわかるんだけど・・・  
どんな子が行ってるのかな?

- 定時制や通信制のことは知らない人も多いと思います。たとえば、定時制昼間コースでは、朝 8:30から登校して、6限目まで授業を受け、3年で卒業する人が多数です。  
まずは、伊都中央高校を知ってください。もっとよく知りたい人は、学校に見学にきてください。

# 伊都中央・定時制 8つの特色



本校では、生徒のみなさんが、定時制課程でいっそう学びやすくなるように、本校独自の学びの工夫とシステム作りに努めています。

## 1 個々の生徒に応じた授業時間割

昼間コースは、午前中4限が必修授業です。

午後からの授業は、必要に応じて選択することができます。

「3年間で卒業したい。」とか、「午後の時間は、学校外でのことに使いたい。」など目的、目標に応じて、授業時間割を選択したり、卒業までの学修年数を決めていきます。



## 2 学びに対してのつまずきや不登校への対応

本校では、小中学校等で、学びがうまくいかなかったり、対人関係が不安で登校できなかったりという生徒に対して、安心して学んでもらえるよう対応に努めています。



## 3 少人数で学ぶ授業

1クラス15～20名程度で授業を行っています。選択授業では、5～10人ほどのクラスもあります。教員は、基礎から理解してもらえるよう授業を組み立て、ていねいに対応していきます。



## 4 ITO支援室の設置

登校しにくかったり、教室には入れないなど、学びたいという気持ちがありながら、うまくいかない生徒に対して、別室で学習して出席を認定する制度を設けています。

※ 一定の要件や期限があり、制度の利用については、本人、保護者と担任でよく話し合っ、決めていきます。



## 5 介護職員初任者研修修了試験の取組

本校では、福祉科の授業の一部を行っています。橋本市や近隣の介護施設の協力を得ながら、2年間の授業や実習に取り組み、介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級相当）修了試験の合格を目指しています。





## 6 単位認定の設定

ボランティア活動時間数の単位の認定の制度を設けています。  
また、高卒程度認定試験や資格試験の合格などの単位認定も行っています。



## 7 社会的自立の支援

本校では、社会生活の基礎を学ぶ「生活デザイン」という授業を設定しています。

「生活デザイン」の授業では、人との話し方やあいさつなど基本的な生活習慣の見直しや、洗濯や料理の仕方の基礎、また、旅行の計画や電車の利用確認など、様々な生活の場面での対応など、体験的な取組を通して、自立して生活できる力の育成プログラムを実施していきます。



## 8 クラブ活動の活性化

本校では、体育系クラブや文化系クラブで熱心に取り組んでいる生徒がたくさんいます。学校のクラブ活動だけでなく、校外で取り組んでいる生徒もいます。

全国大会出場：総合体育部（陸上競技、バドミントン競技）、卓球部、日本拳法部



### 定時制の取組の基本

- 生徒が「安心できる」「学びやすい」「わかりやすい」  
学校で安心して学ぶことができる。  
教員対応がよい。かつ 単位修得しやすい。  
授業がわかりやすい。
- 定時制のシステムの周知  
生徒、保護者はもちろんのこと、送り出してくれる中学校や高等学校の教員に入学や学習のシステムについて知ってもらえるよう努める。
- 生徒支援の拡大  
生徒一人一人が、本校での学びで伸ばしていけるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら生徒のサポートを進めています。  
教育支援のコーディネーターを中心として、全教職員が連携して、生徒の支援や見守りを進めています。



本校では、定時制課程をよく知っていただき、入学していただきたいと考えています。

※ 周りや環境に不安がある生徒については、学習その他について、対応を検討しますので、お申し出ください。